



非核梨大宣言

核兵器廃絶平和山梨大学宣言

広島・長崎、第二次世界大戦の惨禍から42年たちました。

あの惨禍を二度と許してはならないという世界諸国民の願いにもかかわらず、果てしない核軍拡競争によって人類とすべての文明は破滅の危機にさらされています。

核保有国がともに同じだけの核兵器をもてば使用しないですむという核抑止論にもとづく核軍縮交渉が5万発もの核兵器をうみ出してきたことは歴史の教訓です。

核兵器の使用は人道と国際法に反するものです。人類は核兵器と絶対に共存できません。

核戦争の危機からの脱却を求める運動は、「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」支持署名の国際的な広がりをはじめ世界全土で大きな盛り上がりを見せています。

子どもたちの未来を守り輝かせる役割を担う教育学部、科学技術を人類発展に活かす工学部で、ともに学び、教育、研究する山梨大学の全学生・教職員は次のことを決意します。

- 1、核兵器の製造・開発をはじめとする一切の軍事研究に携わりません。
- 2、かつて教育が戦争への手段として用いられたことを戒めとして、どんな戦争も許さない、教育基本法にもとづく戦後民主教育を継承し発展させていきます。
- 3、日本を核戦場化に導く一切の措置に反対するとともに、非核三原則の厳守を迫り、理性の府である山梨大学を核兵器の犠牲にさせません。
- 4、第二次世界大戦の責任を明確にし、再び核戦争を起こさせないために、国の行為によって原爆の犠牲となった被爆者への国家補償を要求します。
- 5、原水爆禁止世界大会の積極的伝統を生かして国際連帯に合流し、今日、全世界で取り組まれている「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」支持署名および、「核兵器全面禁止を要求する署名」(国内署名)をひきつづき全大学人の力で5千名を目標に大きく取り組み、核戦争阻止、核兵器廃絶を緊急課題として追及していきます。

1987年7月6日
(甲府大空襲から42年目の日)

この非核梨大宣言は全大学人の過半数、2017名の署名をもって宣言するものです。

非核梨大宣言実行委員会

■推進団体 梨大核廃絶の会

山梨大学教職員組合、日本科学者会議山梨支部山梨大学分会
山梨大学教育学部学生自治会、山梨大学工学部学生自治会
日本平和委員会山梨大学教職員支部